

雑魚展

《THE KOTEN》

55回記念展

2025
10.2^{THU}
▽
11.9^{SUN}



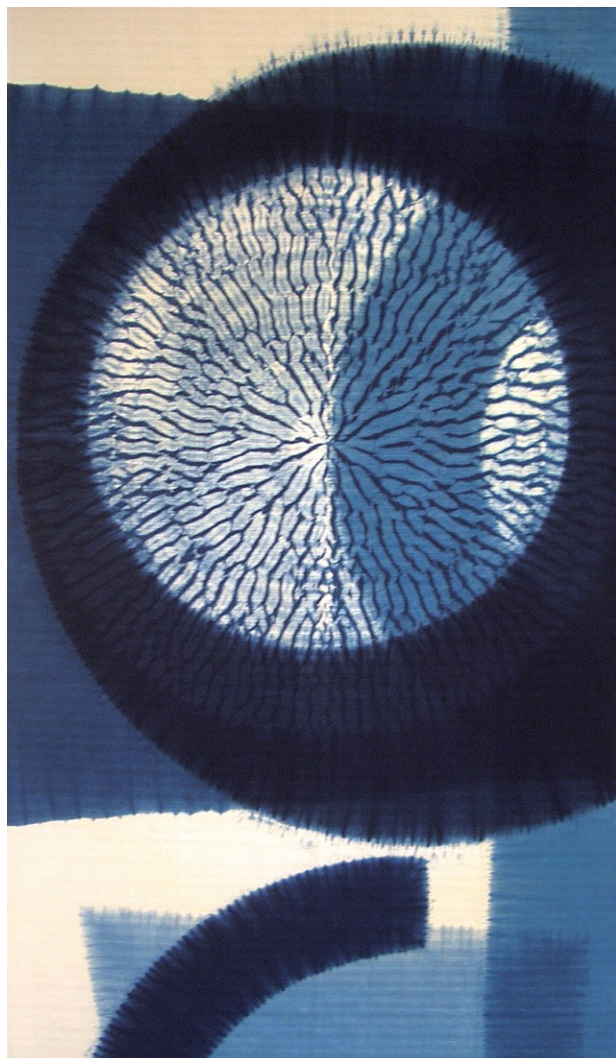
運営に 関け ひろがれ 岐阜の輪
2025年10月18日(土)～21日(火)



竹市安彦「宵待」



浅野裕司「記憶の胎動」



小藪直子「まる」

岐阜市歴史博物館分館 加藤栄三・東一記念美術館

〒500-8003 岐阜市大宮町1丁目46番地(岐阜公園内)

開館時間：午前9時～午後5時(午後4時30分までにご入館ください)

ただし、10月20日(月)、21日(火)は午後6時まで(午後5時30分までにご入館ください)

休館日：月曜日【10月13日(月)、10月20日(月)、11月3日(月)は開館】10月14日(火)、11月4日(火)

観覧料：高校生以上 310円(団体 250円)、小中学生 150円(団体 90円)※()内は20人以上の団体料金
10月13日(月)まで、本館特別展チケット(当日)で入館できます。

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、特定医療費(指定難病)受給者証又は登録者証、

小児慢性特定疾病医療受給者証又は登録者証の交付を受けている方とその介護者1名様は無料。ミライロID可

※岐阜市内在住の70歳以上の方は、証明書などを提示すると無料。

※岐阜市内の小中学生の方は無料。

※家庭の日【10月19日】に入館する中学生以下の方と、同伴する家族(高校生以上)の方は無料。

雑魚展

《THE KOTEN》

55回記念展

岐阜の美術家集団「雑魚展《THE KOTEN》」の55回を記念しての展覧会を開催します。
1976(昭和51)年「平面・立体3人展」という名称で始まった「雑魚展《THE KOTEN》」は、
作家ひとりひとりが同じ場所で同時に個展を開催するという形式で作品を発表してきたグループです。
後にその基本理念を「四つの個展」「七つの個展」と改名し会員を増やしながら、
1991(平成3)年「雑魚展《THE KOTEN》」と改名し現在まで活動が続けてきました。
本展では13名の意欲作を個展形式で展示し、“何か”を生み出していきたいというグループの思いと活動の軌跡を紹介します。



小野由加里「丘の上で待って」



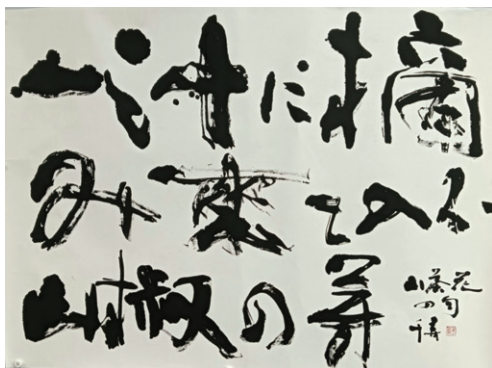
河井俊幸「多様性」



臼井あり「shiwaseiro」



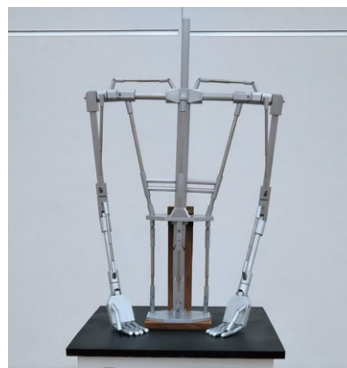
有浦晶子「鍵と宝珠」



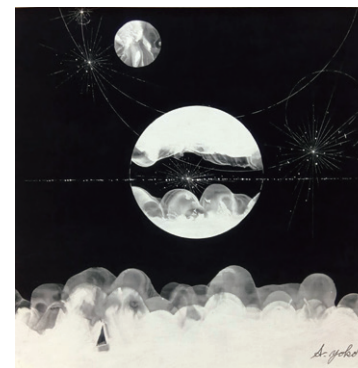
中島千寿「山茶花の句」



清水一好「ローチェ越しのエベレスト(ネパール)」



渡辺賢一「人類の未来は」



横山明男「25-光と闇のいま」



野田佳子「寂夜」

岐阜市歴史博物館分館 加藤栄三・東一記念美術館

〒500-8003 岐阜市大宮町1丁目46番地(岐阜公園内)

交通案内

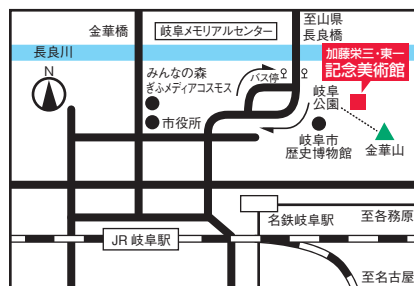
JR岐阜駅・名鉄岐阜駅前から、
長良橋方面行きのバスにご乗車ください。
「岐阜公園・岐阜城」で下車(所要時間約18分)
徒歩約5分(岐阜公園内・ロープウェイ・山麓駅横)

駐車場

岐阜公園北側の堤外駐車場(有料)をご利用ください。
駐車台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関
をご利用ください。



ホームページ



第1展示室

加藤栄三・東一

収蔵作品展

令和7年 10月2日(木)～12月21日(日)



家田陽介
「黎明-決意の時」